

まんまんちゃん ニュース

みきおちゃんご挨拶



株式会社 高田
大聖寺永町38の1
☎ 72-1275
第28号平成30年冬
31年初春

冷え込む季節ですが、タカダはスタッフ皆元気で寒さに負けず頑張っています。さて平成は2019年4月30日で終わることが決まっております。皆様にとって平成はどんな時代だったでしょうか。パソコンが普及しインターネットの登場により、生活・仕事が劇的に変化しました。タカダの事務作業でもパソコンを使うので、手で文字を書くことが減りましたが、このまんまんちゃんニュースは手書きで仕上げております。テレビはアナログからデジタルへ、携帯電話からスマートフォンになったりとあげていくときりがないですが、身のまわりが便利で快適になっております。平成はそれが当たり前になつていった時代だと思います。葬儀では家族葬を希望する方が増えてきており、以前に比べると皆様の認知度も高くなつたと感じます。時代が変わり、葬儀のかたちも様々に変わります。タカダはいつの時代も地域の皆様と一緒に葬送文化の向上に貢献し、成長していきます。



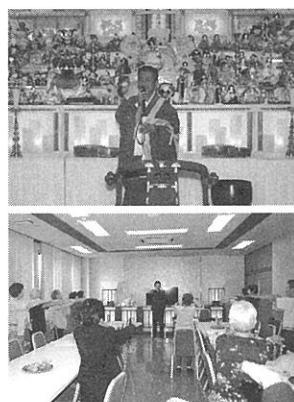
加賀市のおもてなし喫茶メニュー「加賀パフェ」を目当てに橋立町の加佐ノ岬俱乐部さんに行ってまいりました。加賀パフェには、ブロッコリーや温泉卵といった地元食材を使う、九谷焼の皿を使うなど16のフレーバーがあります。加賀カニご飯にもそんな話があったような。ワクワクして待つことしばし、運ばれてきましたよ、加賀パフェが。日本海を表現した青い2層ゼリー、船をかたどったシフォンケーキに帆を似せた金時草チップ。日本遺産北前船をほうふつとさせてくれる、ひとつに橋立らしい一品です。トッピングには吸坂ナツツ。これまた甘じょっぱくて泣かせてくれます。温かい献上加賀棒茶は冷たいパフェにはありがたい組み合わせです。おいしく楽しい加賀パフェをいただけるお店が加賀市内に6店舗あります。お店によって味が違うので食べ比べも楽しそうですね。ぜひお出かけください。

なるほど!ザ・あくり道～遺影写真～

祭壇やご自宅に飾られる故人様のお写真。生前に故人様がお決めになり、お仙壇にしまってあることもしばしばです。ほとんどの場合はご家族で相談して決めいらっしゃいます。昔は黒い紋付きの着物へと着せ替えをしていました。一昔前の葬儀社では様々な家紋を覚えるのが当たり前でした。今では着せ替えなしで普段着のままが多いです。どのお写真にするかをあらかじめご家族で話し合っておくとよいと思います。素敵なお顔のお写真を好む方、凛々しい姿を好む方など意見が分かれる時もあります。ご家族が思う故人様らしい表情と服装のお写真を選びたいものです。デジカメ・スマートフォンのデータも大丈夫です。ちなみに今のようにお写真を飾るのは昭和初期からと言われています。自分の遺影写真を考えるのは終活の第一歩といえます。



ご報告～9月人形供養祭・11月終活塾～



去る9月17日に、秋の人形供養祭と終活塾「今日から始められる元気の秘訣」を開催いたしました。供養祭にはたくさんのお人形さんが集まり、お寺様の読経とご参拝いただいた皆様のご焼香によって丁寧に供養することができました。「捨てるには忍びない」と供養をご希望される方が多く、私どもも、ほんの少しひがひがして嬉しく思います。終活塾は、参加者の皆様がストレッチや体操をするなど、終始和やかな雰囲気でした。また11月10日の終活塾は、加賀料理ばん亭さんにて開催いたしました。法名のお話やアーチードセレモニー、漢方のお話と盛りだくさんの内容でした。ご参加いただいた皆様、ありがとうございます。今後も、たくさんの方にご参加いただけるような楽しい終活塾を企画してまいります。



編集後記

北陸の冬は美味しいものが多すぎて、ついつい食べ過ぎてしまいます。運動を取り入れることによって体重を増やす、食べたいものを我慢しない生活を送ると素敵ですね。

- ニュースレターのご感想やご質問などお気軽にご連絡下さい。
アドレス <https://www.takada-sougi.co.jp>
FAX 72-1265



「古」